

M & A 戦略に関するセミナーを開催

開催日：2017年9月19日(火) 場所：経団連会館

来賓：ピーター・ケネバン マッキンゼー&カンパニー シニア・パートナー
ほか

国際競争が激化するなか、既存の事業領域や国境を越えて成長を実現すべく中長期的観点から戦略的にM & Aを実施することは、わが国企業にとって極めて重要なテーマとなっている。そこで、経済広報センターは9月19日、M & A戦略に関するセミナーを開催し、世界的なコンサルタント会社であるマッキンゼー・アンド・カンパニーの専門家7名から、戦略的優位性の確立に資するM & Aの条件、M & A実施の際の投資家・メディア対応のポイントなどについて、最新状況を交えて説明を聞いた。

冒頭、マッキンゼーのシニア・パートナーのピーター・ケネバン氏は、「M & Aを企業の成長戦略の柱として機能させていくためには、明確な戦略のもとで比較的小規模のM & Aを連続して実施すること、いわゆる『プログラマチックM & A』が重要である」と強調した。

続いて、マッキンゼー側から、①M & Aのなかには、買収企業が自社の時価総額の3割を超える資金を投入する大型案件などもあるが、これらに比し、プログラマチックM & Aは、リターンが高いことが実証されている、②M & Aを成功させるためには、買収時のみならず、その後の統合プロセスなどを、シナジー最大化の観点から戦略的に実行できる組織・体制が不可欠である、③投資家に対しては、当該M & Aの企業業績への貢献度を適時説明するなど、継続的にコミュニケーションを図ることが必須となる、などの説明があった。

その後、参加者との間で、プログラマチックM & Aの重要性や、実施の際の経営者の役割等について、活発な意見交換が行われた。



以上